

ルート発見場所は推測

至：鳥取県側の登山口



59歳男性、単独。廃道になっている岡山県側からマッコウを目指すも下山時に道迷い。駐車場とは反対側の鳥取県側で遺体で発見された。

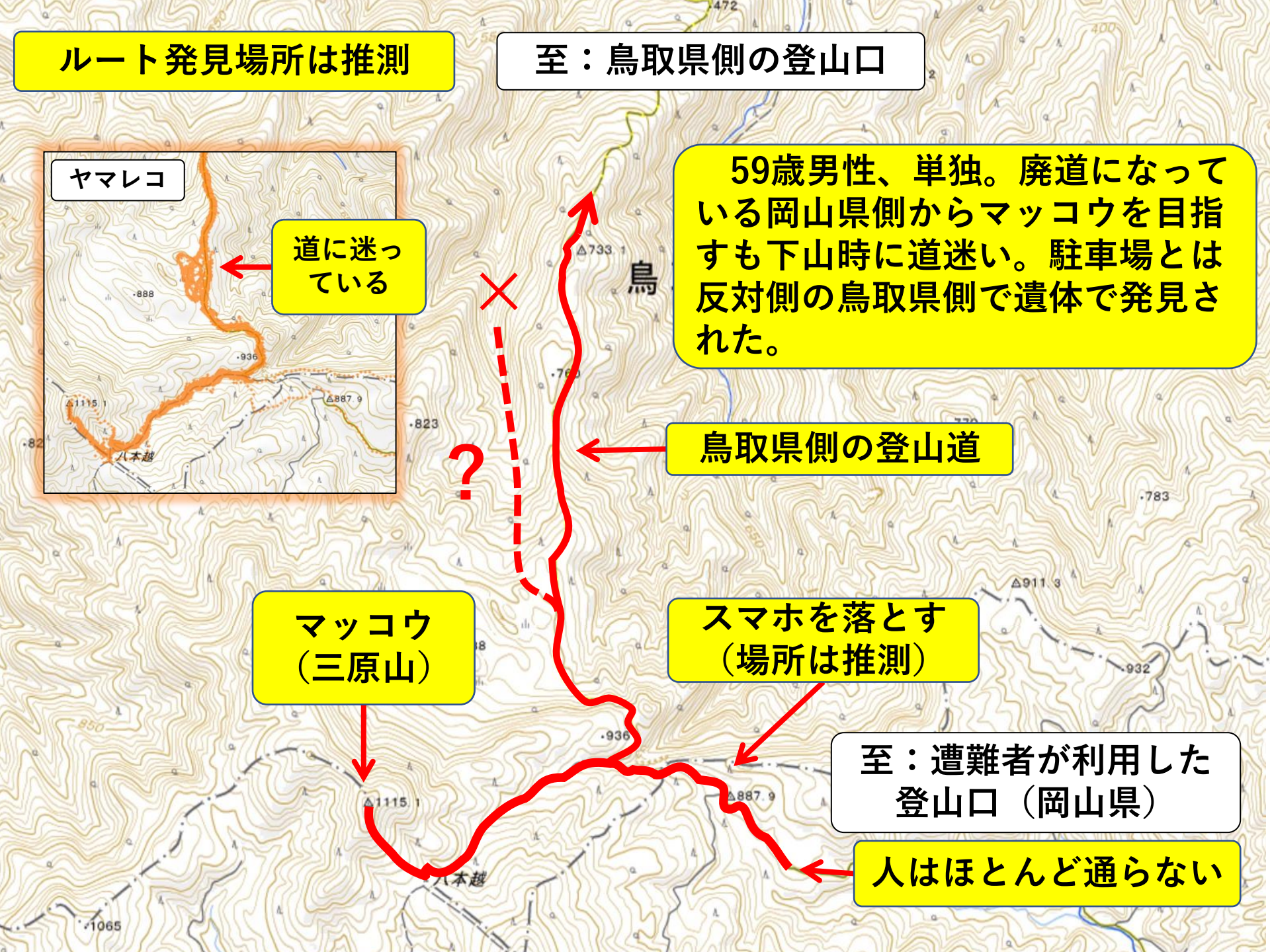
鳥取県側の登山道

マッコウ
(三原山)

スマホを落とす
(場所は推測)

至：遭難者が利用した
登山口 (岡山県)

人はほとんど通らない



「草木が生い茂り、搜索は困難だった。登山アプリの位置情報を基に搜索を続けた」男性の歩みは、GPSで位置を記録する「登山アプリ」に残されていました。アプリには「みまもり機能」があり、家族などが位置情報を共有することができます。

車のあった場所から5キロ弱…「ここから道はないです。県境を目指して行ったら、この登山道に当たる予定です」県境まで約200メートル、道なき道を行います。県境は山の稜線にあります。少し視界が開けますが、やはり道がないことに変わりはありません。三原山は登山の上級者向けで、より難しい岡山県側から登る人は少ないそうです。登山道があるのは鳥取県側。（HP参照）

遭難者の発見が、入山の岡山県側ではなく鳥取県側だったのは、鳥取県側の登山道の方が分かり易かったのだろう。「ヤマレコ」を確認すると一般登山者が迷っている場所が足跡で確認できる。恐らく、ここから沢に入ってしまう滑落し、命を落としたと思われる。

遭難者は登山経験も豊富でYAMAPの「みまもり機能」を利用していたので、登山には慎重な行動をとっていたに違いない。しかし、藪が酷く、スマホを落としてしまったのは、冷静ではいられなかったのだろう。ご冥福をお祈りいたします。